

# 市議会議員 鮎川由美 議会報告書 No.23 2020

(令和2年第3回定例会)

<http://www.ayukawa-yumi.info/index.html>



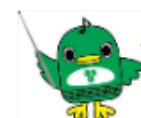
発行

習志野市秋津  
2-3-3-104  
あゆかわ由美  
後援会



市民の皆様には、日頃よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。  
秋の気配が日に日に深まり、本来なら運動会やおまつりで盛り上がる季節ですが、今年はコロナ禍で油断できない日々をお過ごし  
の事と思われます。これから寒い時期に入りますので、新型  
コロナウイルス、インフルエンザにも注意し、健康にご留意して頂き  
たいと思います。

さて、前回にお知らせ致しました「津田沼高校西側道路改良工事」  
ですが、7月下旬から工事に入り、令和3年3月下旬に完成予定と  
いう事で、楽しみにしております。



工事中的ご協力  
ありがとうございます

## 9月議会で可決した議案の中から 税条例と補正予算の一部を抜粋してお知らせします。

### ◆個人市民税に関する主な改正(令和3年1月1日)

○全ての独り親家庭に対して公平な税制支援を行う観点から、**婚姻歴や性別にかかわらず、生計を同じとする一定所得以下の子どもがいる単身者**について、一律に30万円の独り親控除を適用するとともに、一定所得以下の独り親を、非課税措置の対象とする。

○新型コロナウイルス感染症等の影響を緩和するため、**寄附金税額控除の特例**の対象を拡充するとともに、住宅ローン控除についても一定の要件を満たす場合に適用期限を1年間延長する。

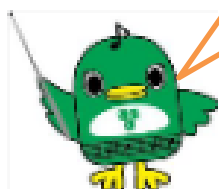
### ◆固定資産税に関する改正(令和3年10月1日)

○固定資産税課税標準の特例措置に関する「わがまち特例」の拡充で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、新規に設備投資を行う中小事業者等を支援する観点から、先端設備等に該当する一定の事業用家屋及び構築物について、新たに課税されることとなった年度から3年度の間、課税標準をゼロにする。

### ◆補正予算から

○新型コロナウイルス感染症対策として、避難所に必要な防災資機材の消耗品、備品等を整備します。

各避難所に  
置かれるから  
安心だね!



| 資機材名             | 購入予定数  |     | 積算金額(税込)    |
|------------------|--------|-----|-------------|
| 簡易テント            | 650    | 張   | 16,345,000円 |
| 簡易ベッド            | 1,300  | 床   | 18,018,000円 |
| 段ボールパーテーション      | 1,500  | 組   | 14,850,000円 |
| 段ボールベッド          | 1,500  | 床   | 20,790,000円 |
| 感染症対策防護服         | 450    | セット | 1,470,000円  |
| アルミロールマット        | 5,500  | 巻   | 8,984,000円  |
| ウエットタオル          | 3,000  | 個   | 1,901,000円  |
| 災害用トイレ処理セット      | 250    | セット | 4,356,000円  |
| 大型扇風機            | 120    | 台   | 2,033,000円  |
| 使い捨てマスク          | 55,000 | 枚   | 908,000円    |
| アルコール消毒液         | 100    | 個   | 770,000円    |
| 非接触型検温器          | 40     | 台   | 440,000円    |
| 消耗品(手袋、ビニールテープ等) | —      | —   | 612,000円    |

## 環境問題について プラスチックリサイクル制度」と「本市の現況」

世界的にプラスチックごみの問題が深刻化する中、日本政府はプラスチック廃棄物のリデュース(減らす)、リユース(再利用する)、徹底回収、リサイクル、**熱回収**、適正処理等を行うためのプラスチック資源循環戦略を策定(令和元年5月31日)、令和2年7月1日からは、レジ袋有料化が義務化されました。

更に自治体に対して、プラスチックリサイクル制度(分別回収及び再資源化)を令和4年度以降の開始を打ち出されたことで、習志野市、千葉市、船橋市、静岡市、福岡市の市長連名で要望書を作成し、小泉環境大臣に面会、提出(令和2年8月27日)をしました。



**※熱回収**⇒廃棄物として燃焼するが、その際発生する熱を有効利用すること。

### <環境省に提出した「真に持続可能なプラスチックリサイクル制度についての要望書」>

- ①リサイクル形態ごとのコストやコークスなどの天然資源投入量などを国が調査・分析して公表すること。
- ②自治体に財政負担させることなく、処理能力の確保に国が責任を持って取り組むこと。
- ③拡大生産者責任の原則に基づき、リサイクルコストをプラスチック製品の製造・販売する事業者負担、例えば製品価格に内部化されるような仕組みを導入すること。
- ④現行の処理方法は各自治体が熟慮のうえ選択したものであり、プラスチックごみの処理については制度を一律に適用するのではなく、且つ自治体の判断や準備期間を十分に確保すること。
- ⑤分別努力に応じたインセンティブの導入にあたっては各自治体の取り組みを最大限尊重し、また施設更新等に着手している自治体の財政措置に影響がないようにすること。



### ◆本市のプラスチックごみの現況

直接溶融炉方式を採用しておりプラスチックごみは熱源(施設内の電気)として活用し、天然資源投入量や最終処分量の削減に寄与しています。(余剰電力は売却)

### ◆熱回収とリサイクル どちらが正しいの？

日本は以前から他の先進国に比べて**熱回収**の割合が高いと指摘されており、「熱の有効利用をするからといって、燃やしてよいのか」という意見もあれば、「分別不能な汚れたプラスチックごみなどは燃やすしかない」という意見などもあり、国は引き続き調査・分析中です。

地球温暖化による経済損失は計り知れないものです。環境負荷を下げるための小さな一歩としてレジ袋が有料化になったのですから、買ってしまえば本末転倒。レジ袋の使用を控えることは未来を生きる子どもたちの環境改善にもつながるはず。私たちはこの機会に、レジ袋だけでなく身の回りのプラスチックの活用も見直してみませんか。

皆様からのご意見・ご要望は、FAX 047-452-0781 まで、お願い致します。